

新春

新しい前橋へ飛躍の年に



前橋市長
萩原 弥惣治

新年、明けましておめでとうございます。市民の皆さんにとって、平成十五年が希望に満ちた明るい一年になりますことを心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年、本市は市制施行百十周年を迎えました。わたしは、これを契機に、なお一層の飛躍を期して、市民の皆さんとともに、「二十一世紀の新しいまちづくり」を進める決意を新たにいたしました。こうした中、「だんべえフェスタ」をはじめとする数々の記念事業は、市民の皆さんが主役となってくくり上げ、大きな成果を収めることができました。

また、昨年十一月には、国内の都市としては初めて、萩市と友好都市提携を結びました。さらに、地方分権の推進と行財政基盤の強化を図るために、大胡町、宮城村、粕川村と任意合併協議会を設置し、市町村合併について真摯な協議を行うなど、着実に新しい時代に向けた地域づくりにまい進しています。

そして、いよいよ今年は、これまでの合併協議を踏まえて、次の段階である法定協議会へ進みたいと思っています。市町村合併によって、本市は、市民生活により密着したサービスを提供することができる中核市としての

要件を満たします。こうしたことも見据えながら、新しい前橋がどのようなものか、市民の皆さんにさまざまな情報を提供し、「意見を伺いながら、市政の重要課題である合併に取り組みたいと考えています。

また、一月には、総合福祉会館が開館します。地域福祉の拠点となる施設の稼働により、さらにきめ細やかなサービスを展開してまいります。

さらに、十二月のオープンを目指し、荻窪地区開発整備事業の第一弾として、地元からわき出ている温泉を利用した健康づくり施設の建設を進めており、市民の皆さんに新しい憩いの場を提供できるものと考えています。

国内の経済情勢は、大変厳しい状況にありますが、今年も市民生活の向上や産業振興を図るため、教育の充実や子育て支援策の推進とともに、企業誘致の促進や工業・住宅団地の造成など積極的な施策を進めてまいります。

今後も常に「開かれた市政」を念頭に、活気にあふれた魅力あるまちづくりを目指します。引き続き、市政に対する皆さんの積極的なご参加とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。